

【ねがいましては】

平成12年4月26日

第124号

KYOWA SCHOOL

「コントラスト」

先日、数人の生徒たちと「小さな旅」へ出かけました。毎日単調な生活の繰り返しの中で、何が良くて、何が悪くて、何がなんだか見えなくなってしまうような気がします。

たった今、日本の中では、1億2千万通りの生き方が、1億2千万ヶ所で繰り広げられています。「旅」は、そんな人々の暮らしを、ほんのわずかではありますが、見たり聞いたりできます。

いつの授業だったか、「ホームレス」のことが話題にのぼりました。私の脳裏に、浅草の言問橋から見た、隅田川の堤防沿いに広がる、ダンボール製の青いビニールシートを身にまとった小さな小屋が連なっている光景が浮かびました。

東京という大きな都市の中の明と暗、皆同じように生まれてきながら、時間の経過とともに、人の生き方は、コントラストをはっきりとさせてゆく・・

この光景を、私は子供たちに見てもらおうと、出かけました。

桜はもう散って、新しい葉が黄緑色に透きとおっています。木々たちは、毎年同じ表情を見せてくれます。そのかたわらに、仕事を失った人たちが、髪をぼさぼさにし、衣服は汚れ、何より驚いたのは、50は越されているだろう女性が、素肌にそのままパンティーストッキングをはき、しゃがんでいました。「女性もいるんだな」・・予想もしていない光景です。その光景から100メートルも行かぬうちに、子供たちが遊んでいる、犬を散歩させている人・・

そして、公園内に共通して、尿のにおいがしていたこと・・一緒に行った子達は、鼻が詰まっていたのか、あまり感じなかったようです。

そこから約10分ほど歩くと、浅草浅草寺。あたりまえのようにお賽銭をなげ、お祈りをして、歩く。聞こえてくる言葉は、とても外国の言葉が多く、また、制服姿の修学旅行の中学生たちが一列に歩く、胸のバッジに眼を向けると、東北のほうの中学校のよう・・。

仲見世を通り、大通りに出たとき、人力車を引く若者たちが多いのに驚かされました。そこを人力車に乗った結婚式の行列が通ります。多くの人たちがながめる中で、私には先ほどの光景が、大きなコントラストとなって浮かび上がりました。

それから私たちは、地下鉄で一路日比谷公園へ、園内では環境にまつわるイベントが行われており、多くの若者たちが活動していました。踊る人、語る人、売る人、彼らの表情は生き生きとしています。そしていよいよ「相田みつを美術館」です。やはり何度も来ても、ここはいいなと思いました。今まで知らなかつた作品に出会うことができ、新たな感動をいただくことができました。その作品を、すぐさま私は書き留めました。それを見た他の方も、同様に書き留めていらっしゃいました。私は書きとめながら、ひとすじ、恥も外聞もなく、流れるものを止めることができませんでした。次ページに載せましたのでご覧ください。相田さん特有の書体で、お見せすることができませんが、伝わってくるものはあると思います。

5月の予定

5月12日（金） 検定試験申し込み締め切り

25日（木）～26日（金） 検定試験4級以下・・ KYOWA SCHOOL

27日（土） PM5：30～ 検定試験3級以上・・ KYOWA SCHOOL